

令和7年1月の広報資料

旭川方面名寄警察署

1 北海道警察防犯アプリケーション「ほくとポリス」の周知・利用促進 防犯アプリで安全・安心！

北海道警察では、防犯アプリケーション「ほくとポリス」を提供しています。

「ほくとポリス」は、北海道内の犯罪や不審者、特殊詐欺の発生情報やその他防犯情報を発信しているほか、防犯ブザー・ちかん対策機能などを備えています。

利用者の身近な場所の犯罪発生状況をお知らせし、自主防犯意識を高めていただくとともに、不審者に遭遇した場合などは防犯機能を活用して周囲に助けを求めることができるなど、利用者の安全で安心な暮らしを助ける防犯アプリです。

また、アプリで登録したメンバーと位置情報を相互に送信する機能もあり、お子様の見守りに活用できます。

その他、地域の見守り活動を支援する防犯パトロール機能や警察署・交番までのルート検索機能、北海道内で配信されたほくとくん防犯メール閲覧機能があります。

「ほくとポリス」は、App Store、Google Play ストアでダウンロードすることができます。ぜひダウンロードし、ご活用ください。

2 雪による事故の防止 慣れた雪かき 危険がいっぱい

○ 早めの冰雪下ろしを

例年、屋根からの冰雪の落下により、下敷きになるなどの事故が発生しています。

冰雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。

また、冰雪は早めに下ろして、落冰雪による事故を防止しましょう。

○ 雪下ろし作業は複数で行い安全確保

例年、屋根の雪下ろし中に、ハシゴや屋根から転落する事故も発生しています。

作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万一に備え、万全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。

○ 除雪機に注意

例年、除雪機による除雪作業中に、衣類を巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故も発生しています。

除雪作業時は、作業に適した服装を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くなどの作業は絶対にやめましょう。

3 バックカントリースキーによる遭難に注意 冬山には 常に危険が 潜んでいる

○ 無理のない行動計画と登山計画書の提出

自分の技量に応じた山を選び、不測の事態に備えたゆとりのある日程の登山計画書を作成し、家族や職場等の身近な人に渡しておくほか、最寄りの警察署又は交番・駐在所に提出しましょう。

○ 万全な冬山装備の準備

冬山登山の装備不備は、最悪の事態を招くおそれがあります。

天候の急変にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備えた食料、燃料等を用意し、万が一に備えた連絡手段として携帯電話を携行しましょう。

- 気象情報等の事前確認
入山前には最新の天気予報を確認するとともに、雪崩の危険性についても確認し、慎重に行動しましょう。
- スキー場の注意事項の遵守
スキー場管理区域外滑走は、滑落や転倒、雪崩、立木への衝突などにより遭難する危険性が高いため、スキー場の注意事項を遵守しましょう。
- 悪天候時は無理をしない。
暴風雪や大雪などの視界不良時は、登山の延期又は途中で引き返すなど、無理をしないようにしましょう。

4 110番通報の適切な利用の促進や警察相談専用電話(#9110)等の紹介と周知 緊急通報は110番、相談電話は「#9110」に！

110番は、緊急の事件・事故などを、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。110番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問します。慌てず落ち着いて正しく答えてください。

警察官が早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。

携帯電話で110番する場合、車で移動しながらの通報や歩きながらの通報は通話が途切れることがありますので控えてください。また、車を運転しながらの通報は法令違反となる場合がありますので、車を安全な場所に停止して通報をしてください。

110番通報時に音声だけでは状況が分からない場合等、スマートフォンから現場の状況等の動画や静止画像の提供をお願いする場合があります（通信料金を御負担いただくこととなります。）。

110番アプリは、聴覚や言語に障がいがある方など、音声による110番通報が困難な方が、スマートフォン等を利用し、文字で警察に緊急通報するシステムです。

110番アプリを利用するためには、事前に専用のアプリをダウンロードする必要があります。音声による110番通報が可能な方は電話での110番通報をお願いします。

緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸手続に関する照会などは、最寄りの警察署、交番・駐在所の電話を、相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「#9110」の警察相談専用電話をご利用ください。

5 冬道での交通事故の防止

ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～

- スピードダウンと慎重な運転
冬道では、スリップによる正面衝突や路外逸脱などの交通事故、凍結路面における追突事故が多発します。
特に日陰や橋の上、トンネルの出入口は日中でも滑りやすくなっていますので、スピードダウンと道路状況に合わせた慎重な運転を心掛けましょう。
- 時間に余裕を持った運転
天候や道路状況により渋滞が発生し、目的地までに時間がかかることが予想され

ます。

時間に余裕がないと、先を急いで交通事故に繋がる可能性がありますので、事前に目的地までの道路状況や天候を確認して、時間に余裕を持った運転に心掛けましょう。

○ 「急」のつく運転操作は危険

急発進、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップなどの思わぬ交通事故につながり、大変危険ですのでやめましょう。

○ 交差点の死角に注意

道路脇には、雪山ができてドライバーや歩行者の視界を遮り、見通しが悪くなります。

交差点を通過する際は、「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断するかもしれない」と予測して、運転しましょう。

○ 悪天候に注意

吹雪や大雪時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴い、命を落とす結果となる場合があります。

悪天候の場合は、不要不急の外出は控えるようにし、やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、万が一に備えて防寒具やスコップ等を準備しましょう。

6 違法・迷惑駐車防止

ダメゼッタイ みんなが困る 迷惑駐車

違法・迷惑駐車は、次のような危険や障害の原因となります。

○ 道路を狭くして通行の妨害になります。

違法駐車があるために、交通渋滞を引き起こし、スムーズな車両走行ができなくなることがあります。また、歩道上駐車は歩行者の通行を妨げます。

○ 交差点付近での事故の原因となります。

交差点付近の違法駐車は、通行する車両や歩行者の見通しを妨げ、交差点事故の原因となります。

○ 緊急車両の活動を妨げます。

狭い道路に違法駐車があるときは、他の車両が通行不能となります。特に、消防車や救急車などの緊急車両の活動を妨げ、人命救助に重大な影響を与えます。

○ 歩行者事故などの原因になります。

住宅街での違法駐車は、駐車車両の直前や直後から幼児、児童の飛び出しによる事故や、夜間には走行車両が駐車車両に気付かずに衝突するなど、交通事故の原因にもなります。

○ 除排雪作業の障害となります。

違法駐車が除排雪作業の妨げとなり、住民に迷惑をかけ、生活にも重大な影響を与えます。